

令和5年度 学校だより11月号から

運動会を終えて

令和5年度運動会をご参観いただきありがとうございました。

子どもたちはこの日に向けて、日々一生懸命練習してきました。練習を頑張っている子どもたちの姿をみるたびに心が動かされました。皆様に見ていただいて、あたたかい拍手をもらうことで、多くの子が達成感を味わってくれたことと思います。

速く走れたり、上手に演技したりということだけではなく、普段は感じるできない緊張感の中で自分なりの力を出しきること、これこそが貴重な経験です。今年度の運動会スローガン「仲間を信じ 全力魂」にはそんな願いも込められています。人と比べるのではなく、おとなになってここぞという時に自分の力を発揮するためには、成長している今「自分なりに力を出しきる練習」が必要だと思っています。運動会はまさにその「人生に向けての練習」の場ではないでしょうか。

新型コロナ感染拡大の時期を経て、今回の運動会を開催するにあたり、保護者の皆様、PTA 本部役員および委員の皆様、地域の皆様の多くのご理解とご協力をいただきました。子どもたちの成長を見守っていただけることに改めて感謝申し上げます。
(校長 堀口 直明)

※5, 6年生が係活動として一人一役を担い、運動会を支えてくれました。そのうち、約1か月にわたり準備してきた係活動とリレーの紹介をします。

運動会実行委員

実行委員は5年生7人、6年生8人の計15人で活動してきました。どこの係よりも早い9月下旬から活動を始め、スローガン決め、スローガン紹介の練習や大玉送りの説明などそれぞれが休み時間を使って準備を進めてきました。

大きな行事を軸となり、運営していく立場はとても大変な立場だったのではないかと思います。ですが休み時間の集まりでは、活発に意見が出され、一人一人が「みんなのために良い運動会にしたい」という熱い想いが伝わってきました。全体を動かす難しさや、大勢の人の前で話す緊張感など、実行委員をやったからこそ味わうことができた経験がたくさんあることでしょう。先頭に立って、運動会を盛り上げてくれた実行委員に感謝しています。

低学年リレー

低学年リレーでは、バトンパス、待ち方、競技中の態度など基礎的なことを練習しました。選手顔合わせの際に1～3年生の代表と伝えたときのキリッとした表情が印象的でした。1年生は小学校初めてのリレーで覚えることがたくさんありましたが、練習でしっかり身に付け、本番で素晴らしい走りを見せてくれました。2、3年生は1年生のお手本になれるよう、積極的に練習に取り組み、堂々と走りきることができました。

マーチング

本校では、5・6年生の係の一つとしてマーチング係があります。全校児童の入場行進、開閉会式で演奏します。運動会を盛り上げる、なくてはならない存在です。マーチングは、中休みも昼休みも毎日練習しました。係の中の一つということは、第一希望ではない場合もあります。そのため、音楽が得意な児童が集まるとは限りません。楽譜が読めない児童は、お手本の演奏を聴きながら何度も何度も練習しました。また、できるようになった人が、頑張って練習している人に教える場面もありました。たくさんの楽器の準備や片付けもみんなで協力して行いました。音楽が得意な子も苦手な子も互いに励まし合いながら、決して弱音を吐くことなく、本番に向けて毎日必死に頑張る姿に毎年胸を打たれます。今年の入場行進の曲は「ドラゴンクエスト」でした。気持ちを合わせて、拍を感じながら、かっこよく演奏することができました。

応援団

応援団は4、5、6年生の32人で活動しました。10月より練習を開始し、6年生を中心に運動会をより良いものにしようと内容をみんなで決めて練習をしました。

4年生は、初めての応援団でしたが、周りを見ながら一生懸命上級生の話を聞き、大きな声を出していました。5年生は二度目の応援団の児童も多く、できることは自分で、意見を求められた時に進んで意見を出すことができました。6年生は6年間の思いを運動会に出し切り、思い出に残る運動会にしようと、全体をまとめるために張り切って活動していました。当日は、団長を中心にとっても良い表情でみんなで声を出していました。練習や本番で全力で頑張っていた応援団の姿を見て、低学年の児童も大きくなったら応援団に入って頑張りたいと思える力強い姿をたくさん見せてくれました。